

# LOOK & LOOK

# 辰野高校

ルックルック

VOL. 37

平成23年3月28日  
新聞委員会  
那須野 奥村 小沢

辰野高校は、普通科と商業科がある学校！



## 辰野高校を紹介いたします。

辰野高校では学校新聞「LOOK & LOOK」(ルックルック)を発刊して、地元辰野町の皆様と中学3年生に見ていただいています。この第三十七号は、3年生に進級した皆様に辰野高校の日ごろの様子を知ってもらおうことをねらいとして作成しました。

また、三月十一日に起こった東日本大震災に対する支援として、春休み中ですがさっそく活動が始まりましたので、その様子もお伝えします。(裏面下)

辰野高校生の一日は、この生徒昇降口を入るところから始まります。玄関を入ると右側にピカソの「ゲルニカ」の実物大図が掲げられています。憲法施行五十周年の一九九七年の文化祭で生徒会が作りしました。正面にはその年の文化祭で展示した日本国憲法前文の刻字を掲示しており恒久平和を祈念する本校の気持ちを表しています。



中央道辰野パーキングにて  
善後金の募金活動

玄関に向かって左側には「わたしたちの学校づくり宣言」を掲げています。この宣言に基づき、より良い学校づくりをめざす生徒・父母・教職員三者協議会を実施しています。これにより辰野高校では、生徒は学校のあり方を考える主人公として期待されています。本校においての際には

この宣言文をぜひ読んでみてください。



「わたしたちの学校づくり宣言」によって発足した通称「三者協議会」の様子です。写真の左には生徒の代表、右には保護者の代表、手前に教職員の代表が座ります。学校の施設・設備への要望、授業改善に向けた生徒・教職員双方の要望や取り組みのほか、学校の規則などについても話し合いを行います。この会議は全国的に有名で、毎回県内外の先生や生徒の皆さんがオ

この学校新聞も三者協議会での保護者からの提案で発刊が実現しました。

生徒・保護者・教職員に加えて、地域住民や同窓会の方々と交えて行われる「辰高フォーラム」があります。これはクラブや生徒会等の活動を振り返り、新たな活動につなげる研究の場で、全校生徒参加で行われます。



写真は、図書委員会の活動を紹介します。発表が、全体会で行われている様子です。三者協議会やフォーラムを通して、辰高生は成長しています。



# 楽しい行事がいっぱい 辰野高校



辰野高校の行事は、春のクラスマッチから始まります。新入生にとっては、いろいろな中学校から入学してきた仲間たちと仲良くなるチャンスです。

文化祭は夏休み前にあり、文化系クラブの発表のほか、商業科の生徒による販売やクラスごとの発表で団結も強まります。

文化祭は生徒会が工夫をこらした企画で、感動の中にクライマックスを迎えます。



文化系クラブは、吹奏楽・声楽・演劇・美術・イラスト・書道・茶華道・太鼓・ダンスなどで、中学までの未経験者も気軽に加入できます。



東日本大震災が起こったのは、自宅研修の期間でした。震災後一週間の三月十九日(土)には、商業科生徒による新商品のためし売りが、中央道辰野パーキングで行なわれました。それに合わせて義援金の募金活動も行ったところ、多くのお客さん方から気持ちのこもった義援金を預かせてもらいました。

終業式の二十三日には、JRCの代表者が、全校生徒に向けて募金活動への協力を訴えました。また、二十八日には、長野県赤十字救護隊の一員として石巻で活動したOBの古村幹夫さんからお話をうかがい、四月からのJRC活動の参考にさせていただきました。ここに、そのお話の骨子を掲載します。

「勉強したくてもできない同世代の人たちのことを考えると、学校に行けて仲間がいて勉強ができる今の状況を感じて、大切にほしい。辰野高生が募金に取組んでくれることはうれしいが、募金はお家の人が生活を支えてくれるからこそできる活動で、自分たちの力だけでできていることではないはず。今、みんなが一番しなければいけないことはしっかり学ぶこと。知識を身につけ、たとえば医者や看護師、保育士といった資格をとって、将来被災地などで本当に役に立てるようにがんばってほしい。」とのことでした。古村さんは、本校在学時は生徒会長で、現在は辰野町消防団長をしています。

大震災支援に向けて